

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)東大阪市長瀬町3丁目 物販店	階数	地上2階建て	
建設地	大阪府東大阪市長瀬町	構造	S造	
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)	
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年6月 予定	評価の実施日	2025年10月23日	
敷地面積	3,329 m ²	作成者	石原 秀利	
建築面積	2,383 m ²	確認日	2025年10月27日	
延床面積	2,570 m ²	確認者	石原 秀利	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.1 ★★★★	A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★	30% ★★★★★ 60% ★★★★ 80% ★★★ 100% ★★ 100%超: ★	30% ★★★★★ 60% ★★★★ 80% ★★★ 100% ★★ 100%超: ★	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		Qのスコア = 2.7		Q3のスコア = 2.1	
Q 環境品質		Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)	Q3のスコア = 2.1
Q1のスコア = 2.8	Q2のスコア = 3.0	Q1のスコア = 2.8	Q2のスコア = 3.0	Q3のスコア = 2.1	Q3のスコア = 2.1
音環境 2.6	温熱環境 2.6	光・視環境 3.0	空気質環境 3.2	生物環境 2.0	まちなみ 2.0
機能性 2.8	耐用性 3.0	対応性 3.4		地域性・ 2.5	
LR 環境負荷低減性	LRのスコア = 3.4	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	LR3のスコア = 3.3
LR1のスコア = 3.9	LR2のスコア = 2.9	LR1のスコア = 3.9	LR2のスコア = 2.9	LR3のスコア = 3.3	LR3のスコア = 3.3
建物外皮の 3.5	自然エネ 3.0	設備シス 4.6	水資源 3.0	地球温暖化 4.0	地域環境 2.9
効率的 3.0			非再生材料の 3.0	周辺環境 3.1	
			汚染物質 2.7		

3 設計上の配慮事項			その他
総合 建物については一次エネルギー消費量BEImが低くなるように省エネ性能に配慮すると共に将来の更新性に配慮したゆとりある計画とした。また、敷地内には緑地を設け、周辺環境に配慮した。			特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)	
特になし。	平均の階高=4.45m、壁長さ比率=0.10とする事で空間のゆとりを確保する共に将来への更新性に配慮した。	敷地周囲に緑地を配置した。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
省エネ性能を考慮し、空気調和設備や照明設備の省エネ性能に配慮した。また、外壁には断熱材のグラスウールを設置し、断熱性能を高めるように計画した。	内装の下地にはLGSを採用し、部材の再利用に配慮した。	駐車場、駐輪場を十分に確保すると共に別途乗り入れ口を分けて荷捌き車両のスペースを設けた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.4

【建物概要】 建物名称		(仮称)東大阪市長瀬町3丁目 物販店舗新築工事				
建設地		大阪府東大阪市長瀬町				
用途／区分		物販店				
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B+	
①	CO2削減				4	
②	みどり・ヒート アイランド対策				2	
③	断熱性能				4	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外
④	エネルギー消費性能				5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外
	非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分				3	
⑤	自然エネルギー直接利用					
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス
	エネルギー消費量の報告					報告しない
【評価項目】						
項目	評価内容					スコア
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					4.0
② みどり・ヒートアイランド対策						4
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出				2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制				3.5	4
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化				4.6	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用				3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない
その他						
先進的技術の導入		技術の名称		考慮事項		
特に配慮した事項						